

報

報

N.5  
'58  
12-30

教育大社会学クラブ行  
斗争委員会事務局発行

駒澤移転阻止をめざし成当前に出で扱いといつ社  
会學の坐と公學及諸君！

この尚の大學生當局の動願、他學部執行部系の策動  
にして我方學生の叫いを中心にて現在の抗轉を報  
告し、一向以降の叫争の巨なる爆發を準備していく  
ことを同時に語るにいたる。

大學生當局の入試中止をテコと  
したスート破壊運動を粉碎せよ！

學反諸君、我方の二百日にも及ばずとする長期に  
ケーブルストリームのかららず、現存大學當局リ移転  
種族派は、我々の七項目要求に対し同様の「権利」  
もござりば小なり、との反動的本質を赤裸々に  
し政府又都道と一体として形にあひて我々の叫い  
を高圧的に破壊せりとしている。去る29日御議會に  
あひて、當局は東洋度入試を体育學部を除く四學部  
を中止することを決定して、たのび、このよう  
當局の動向は一休向を意味しているのか。自ら作り  
上げたタイムリミット内に何とか紛争解消のメ  
ドをつけようと狂奔した當局は、それが12月中にあ  
るては各學部教授會の意見の「不調整」、我方のス  
ト破壊運動の叫いにあつて彼らの「至學集公  
によるスト破壊がズムトでに運はないとみるや否や  
この間の若干のリフトメントをかぢりすと、即に  
入試中止を決定することによる、我方の叫争の  
日終をはからんとしているの已。大學當局はまさに  
政府文部省と結託しこ、このアメ試中止を決定を通  
じて、エ、体校廃校等の推進による強权的叫争依頼  
の突破口とする、たゞ「社会問題化」させることによ  
つて「世説」の圧力を學生の叫いにかけこいく、3.  
ある研究本制の改善重視の好意とする、4反動的口  
輪轄をひきすことにより叫争体制の切り崩しをはかる、  
等々をもくろんせいるのせといふことを明確に把握  
せねばむろりと「アメ試中止」決定は以上のよう  
な旨日を強調する、そして政府文部省のあくまでも野  
望の體現のための意図を察するので、専門家、学者、  
の大学書籍、研究文書にひける學術的貢献の叫争、  
アメスト破壊の動向に対して、断乎としヒ反對の叫いを  
一日叫争の爆發前をもっておこしてしこうでは  
ないが、そして駒澤移転阻止の野望を我々の強烈な  
叫争体制、巨なる成例をもつて最弱的に打ち碎こう  
であります。

一切の彈圧、收束策動を粉碎せよ

へ他學部執行部系のアメ試実施要求

リ大學を守れに粉碎せよ！

現在他學部執行部系は、アメ試中止の決定にア

マを喰い、亟くこのアメ試中止の策動を正しく分  
析し得ず、學反の即物的意義にべたりとの、か  
かり單なる危機アザリを行ふことによる、て大學を  
守れ」などと極めて右翼的組織化を是してい

れば「團交」と云つてゐるものを開き、と  
はラナ入學試験を実施せよ」「早期解決に努力せ  
よ」等々のネゴトを手を差して裏顧するとりのう  
ることをや、こりのうだ。まさにこのようだ彼らの  
アメ試運動は、我々の駒澤移転阻止の叫いとは至  
く異りる把柄にあひて、學園「民主化」めざして有  
効的む學友をヨミ込みつついかにしこ自らのヘゲモ  
ニーの下に叫いを終結させこいくのがというその一  
点にかかる、こりのうにすぎないのである。彼らは今、  
「至學集公開催」→「早朝解決」→「國式廿年内中  
に與休化」をかりて、大學當局の高姿勢に一  
度だけは対してたゞ、右往左往するのみなのであ  
る。そして現在では彼らの六項目要求をすら當局の  
動向の前にかるでいすこんばかいの右翼性をさうけ  
出しこしているのだ。我々はこのようだ彼らの路線にけ  
りと対決し、破廉恥の策動を断乎として粉碎し  
こいかねばならうからいだろう。

へ中間總括文を集中せよ！

社会學の先進的學友諸君！六月以降長期にわ  
る我々の叫いの意義とその内実は、一休如何なるも  
のであつてのか、現在極めて困難の局面にあつて自  
らの叫いを冷厳に審査することに今后の叫争に重  
要の意味をもつてゐるであろう。社斗委員會は全  
ての諸君に給付文書の作製と共に要請する。

×切日 一日七日（期まで集中）

《スケジュール》

第1回  
文部省へ抗議

至學集公開催決定  
(1:00~)

同盟登校(以降)

社外学界訪問  
(1:00~ 沿神等)

統括文書集中  
夜、パトロール

至乙の學友は  
社斗委に結集せよ